

平成 2 1 年度 入札監視委員会議事概要

九州防衛局

開催日及び場所	平成 22 年 3 月 11 日(木) 福岡合同庁舎 2 号館 5 階 第 1 会議室		
委 員	牧角 龍憲(大学教授)	松藤 泰典(大学教授)	
	植田 正男(弁護士)	清水 秀幸(公認会計士)	
	高場 俊光(大学講師)		

I 地方防衛局等が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	平成 21 年 10 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日		
審議対象件数	6 0 件		
1. 入札状況について(入札参加者の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)			
抽出件数	4 件		(審議概要)
建 設 工 事	一 般 競 争	1 件	1. 建設工事等発注実績について 2. 指名停止の措置状況について 3. 抽出事案について
	一 般 競 争 (政府調達協定対象外)	2 件	
	指 名 競 争	0 件	
	随 意 契 約	0 件	
	建設コンサルタント業務等	1 件	
	意見・質問	回 答	
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等	【建設工事発注実績について】 特になし 【指名停止措置状況について】 特になし		

	意見・質問	回 答
<p>○委員からの 意見・質問</p> <p>○それに対する 回答等</p>	<p>【前回審議の確認】</p> <p>(簡易公募型競争入札方式)</p> <p>〔九州防衛局(21)資材価格等調査〕</p> <p>調査結果を公表していないということなので、積算価格を決めるに当たっての調査を、ひとつの財団が年々継続しているのは、公正性、透明性が求められるため、他省庁との比較ということで、契約状況をわかる範囲で確認し、報告されたい。</p> <p>類似の業務を毎年定期的に発注する業務について、受注額がどのように推移しているか統計的に整理し、積算に反映させていただきたい。</p> <p>(一般競争) (政府調達協定対象外)</p> <p>〔食器洗浄及び清掃作業〕</p> <p>入札参加業者が多いところは、落札率も低くなっていて競争条件が整備されている事が判断できるので、他と比較して少ない地区は公告の方法等を改善していただきたい。</p> <p>(株)総合人材センターが「えびの」と「川内」両地区の入札に参加しており、その応札率が極端に違う。両地区の入札日を示されたい、又(株)総合人材センターに確認できるならば応札額の考え方を確認されたい。</p>	<p>他省庁の契約結果は、入札方式、入札参加者いづれも当局と同様の結果であった。</p> <p>また、過去に参加者2者は独占禁止法に基づき課徴金納付命令を受けており、それ以後は公正性、透明性の改善が成されていると承知している。</p> <p>今後、注視していきたい。</p> <p>入札日は、「えびの」2月29日、「川内」3月10日である。</p> <p>当時の明確な応札理由は聴取できなかったが、今後は、電子入札の導入等も視野に入れ、また、入札公告の方法等も増やし、入札参加者が増加するように改善していきたい。</p>

	意見・質問	回 答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>【抽出事案について】</p> <p>○建設工事について</p> <p>(一般競争)(設計施工一括発注方式)</p> <p>〔横瀬貯油所(21)試運転場整備工事〕</p> <p>契約金額が30億と高額でありながら、1者しか応札者がいないのは何か特殊な事情があるのか。</p> <p>積算項目が多数ありながら、予定価格と入札価格の差が少額なのは何故か。</p> <p>予定価格を算定するのに、全く業者任せで良いのか。</p> <p>設計施工一括発注方式(高度技術提案型)は、初めての審議事案であり、また、高度技術提案型でありながら技術点が低いことから、どのような視点で評価が行われたか等事務手続の流れについて説明されたい。</p> <p>(一般競争)(政府調達協定対象外)</p> <p>〔佐世保米軍(21)家族住宅新設土木工事〕</p> <p>結果的に、評価値を付与する対象者が1者のため、評価点があまり高くないにもかかわらず満点の加算点が付与されているが、せつかく基準評価値を設けた意味が薄れているのではないか。</p>	<p>特に、特殊な事情は無く、結果的に1者であったと思われる。</p> <p>今回、初めて発注する工事であり、積算のノウハウがないため、業者見積を採用している。</p> <p>総合評価方式(高度技術提案型)においては、競争参加者から発注者の積算基準類にない新技術・新工法等が提案される事が考えられるため、競争参加者からの技術提案(見積書)をもとに予定価格を定めている。</p> <p>次回、説明する。</p> <p>基準評価値は、標準点(100点)を予定価格で除したもので、最低ラインを示すものであり、仮に加算点が0点であっても、入札参加要件は満たしている。</p>

	意見・質問	回 答
<p>○委員からの 意見・質問</p> <p>○それに対する 回答等</p>	<p>今後、総合評価方式による落札者決定の考え方がわかるような資料を席上準備されたい。</p> <p>(一般競争) (政府調達協定対象外)</p> <p>[鹿屋(21)訓練施設新設等機械工事]</p> <p>入札という形で、4回まで入札が行われているが、何かルールがあるのか。</p> <p>差が少額であるならば、見積合せを行わないのか。</p> <p>他局も同じようなルールなのか。</p> <p>他の鹿屋地区の工事には多数応募があるのに、この工事の応募者が少ない理由が何か考えられるか。</p> <p>(簡易公募型プロポーザル方式)</p> <p>[前川原(21)教育施設基本検討]</p> <p>随意契約であるため、低入札価格調査は無いということだが、予定価格を50%も下回っているが、見積価格の妥当性は検討したのか。</p>	<p>了解した。</p> <p>原則2回までだが、支局の運用で予定価格と入札価格の差が少額である場合、最大5回まで行っている。</p> <p>最終的な見積合せは行わない。</p> <p>九州局の場合は、原則2回である。</p> <p>開差が大きい場合は、ヒアリング等を行いながらその場の状況に応じて、2回目以降の入札を行っている。</p> <p>一概に言えないが、工事内容の違いによるものではないか。</p> <p>何故2者だったのかという分析は、できていない。</p> <p>会計法第29条の6に規定された競争入札に該当しないことから、調査基準価格を設けていないため、低入札価格調査は実施していないが、入札価格に相当する内訳書については、金額の錯誤、積算項目の漏れ等について点検を行っている。</p>

	意見・質問	回 答
<p>○委員からの 意見・質問</p> <p>○それに対する 回答等</p>	<p>ヒアリングにおいて、見積金額を評価しているではないか。</p> <p>予定価格が適正かどうか積算価格の算出方法を、次回説明されたい。</p>	<p>見積金額が、当局の概算額以内のため評価されているのであって、妥当性を評価しているものではない。</p> <p>次回、説明する。</p>
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>なし</p>	

2. 談合疑義案件の処理状況について			
談合疑義案件数		0件	(審議概要)
工事	談合情報	0件	
	点検結果疑義	0件	
業務	談合情報	0件	
	点検結果疑義	0件	
		意見・質問	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等		【内訳明細書点検結果について】 特になし。	
委員会による意見の具申又は勧告の内容		なし	
3. 入札結果の事後的・分析結果について（公正入札調査会議への報告内容の確認等）			
審議概要		1. 順位不動の分析 2. 落札率・応札率の分析 3. 低落札／不調事案の分析調査項目別の平均落札率等の分析	
		意見・質問	回答
○委員からの質問・意見 ○それに対する回答等		総合評価落札方式において、施工成績の評価は透明性を確保しておかなければならないので、次回、施工成績評定要領について説明されたい。	次回、説明する。
委員会による意見の具申又は勧告の内容		なし	